

レシップホールディングス株式会社

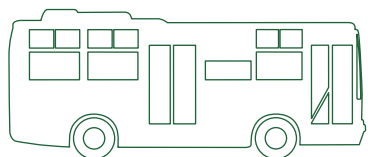
平成28年3月期

報告書 第64期

平成27年4月1日～平成28年3月31日

**LECIP**  
GROUP

証券コード：7213





代表取締役社長 杉本 眞

### ご挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。平成28年3月期において、大幅な損失を計上し、株主の皆様にご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。前中期経営計画の反省を踏まえ、新しく策定した中期経営計画のもとで、安定的な売上と利益を確保する体制づくりに取り組んでまいりますので、引き続きご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

平成28年6月

#### 当期の業績についてご説明ください。

##### 減収減益

当社グループは、これまで平成28年3月期を最終年度とする中期経営計画「+1=2015」の重点課題「TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱にする」「次世代機器・システムの商品企画と拡販」「海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造」「国内外でのLED商品の拡販」「プロセス改善によるQCDの向上」に取り組み、積極的な先行投資による海外市場の開拓と新しい製品の開発を進めてまいりました。

しかしながら、平成28年3月期の売上高につきましては国内バス市場において大型案件が少なかったことや、通信基地局向け無停電電源装置の販売減少等により5期ぶりの減収となりました。利益面につきましては、北米向け自動運賃収受システムの開発遅れに伴う追加費用の発生や、開発したシステムの評価損の計上、連結子会社LECIP ARCONTIA AB社の株式取得時におけるのれんの減損損失等により、平成17年の株式公開後初となる営業損失、さらには大幅な当期純損失を計上しました。

#### 次期の見通しはいかがですか。

##### 増収、黒字回復の見通し

平成29年3月期の売上高につきましては、国内において、市場の投資デマンドが引き続き回復傾向にあることから、輸送機器事業・産業機器事業ともに堅調に推移する見通しであり、海外においても、北米においてようやくシステムを納入できる段階に移行したことから増収を見込んでおります。また利益面に関しましても、製品コストの低減に加え、平成28年3月期に計上した国内外の一時費用の剥落により、黒字回復する見通しを立てています。

以上のことから、平成29年3月期の連結業績予想に関しましては、売上高は前期比11.1%増の180億円、営業利益、経常利益ともに3億円、親会社株主に帰属する当期純利益は50百万円を見込んでおります。

新中期  
経営計画

## ～安定的な売上 200 億円に向けて、チャレンジ・アゲイン～

《定量目標》売上高 200億円以上、営業利益10億円以上

## 重点課題

イノベーション  
で業界をリード  
する新商品企画  
と拡販アフターサービ  
スの強化による  
お客様満足度の  
向上海外におけるビ  
ジネス基盤の確  
立品質向上による  
顧客信頼の確保プロジェクトの  
見える化による  
QCDの向上

新中期経営計画についてお聞かせください。

株主の皆様へのメッセージをお願いします。

## Challenge Again 2020

新中期経営計画「Challenge Again 2020」(平成28年4月～平成33年3月)では、基本的にはこれまでの方向性を継続しつつ、安定的な売上と利益を確保できる体制の構築に再チャレンジしていきます。定量目標として売上高200億円以上、営業利益10億円以上を設定し、重点課題としては「イノベーションで業界をリードする新商品企画と拡販」、「アフターサービスの強化によるお客様満足度の向上」、「海外におけるビジネス基盤の確立」、「品質向上による顧客信頼の確保」、「プロジェクトの見える化によるQCDの向上」を掲げました。

平成32年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、この世界的なイベントを前に、日本全体が新しい社会の構築に向けた準備を進めています。また首都圏においては、平成30年前後から運賃収受機器の大きな更新需要が見込まれておりますので、当社としても、このめったにないチャンスを活かし、新しい製品・システムの構築にチャレンジしていきたいと思っております。

## 安定的な収益を確保していく

現在、国内ビジネスにおいては、輸送機器事業、産業機器事業ともに、相対的に安定した利益を確保できる状況にありますものの、海外ビジネスにおいては先行投資費用の回収が遅れている状況にあり、平成28年3月期の業績は大変厳しいものとなりました。このような状況を鑑み、期末配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、前期より1円減配の7円50銭とさせていただきます結果となりました。

しかしながら、海外ビジネスを担う人材の拡充と併せ、プロジェクトの推進方法を現地主導から日本主導に切り替えたことにより、状況は大きく改善してきております。前中期経営計画で挙げた課題を踏まえ、今後はこのたび策定した中期経営計画「Challenge Again 2020」の達成に向けて、社員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

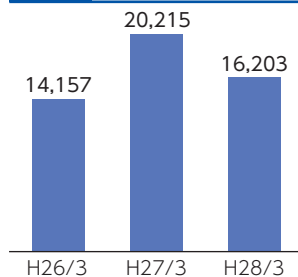
## 営業概況

輸送機器事業の売上高は114億24百万円（前期比8.0%減）、営業損失は6億38百万円（前期は2億1百万円の営業損失）となりました。市場別の売上高は、バス市場が89億64百万円（前期比8.2%減）、鉄道市場が15億85百万円（前期比13.3%減）、自動車市場が8億74百万円（前期比5.8%増）となりました。国内バス市場において、カラーLED式行先表示器やOBC-VISION（液晶表示器）等を拡販したものの、ICカードシステムの大型案件がなかったことから減収となりました。損益面につきましては、国内ビジネスでは一定額の利益を確保したものの、北米の自動運賃収受システム案件に関し、開発の遅れに伴う追加費用の発生等により、前期に引き続き、赤字計上となりました。

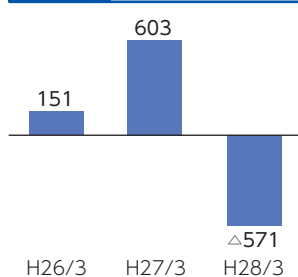
産業機器事業の売上高は、47億34百万円（前期比39.0%減）、営業利益は1億27百万円（前期比85.3%減）となりました。市場別の売上高は、電源ソリューション市場が22億93百万円（前期比58.3%減）、エコ照明・高電圧市場が8億34百万円（前期比5.4%増）、EMS市場が16億6百万円（前期比9.5%増）となりました。売上面、利益面ともに、前期に計上した通信基地局向け無停電電源装置の大型案件の剥落により、減収・減益となりました。

この結果、平成28年3月期の連結売上高は前期比19.8%減の162億3百万円、営業損失は5億71百万円（前期は6億3百万円の営業利益）、経常損失は6億49百万円（前期は7億79百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は13億78百万円（前期は2億27百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

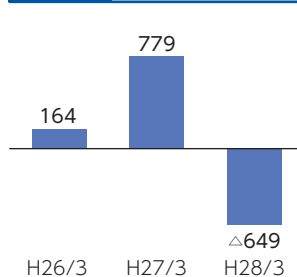
**売上高** (単位：百万円)



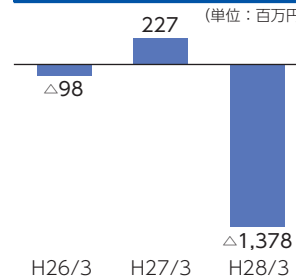
**営業利益** (単位：百万円)



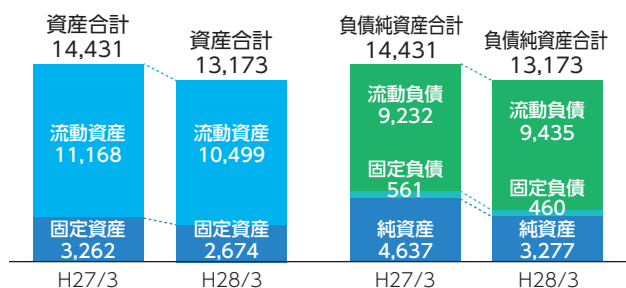
**経常利益** (単位：百万円)



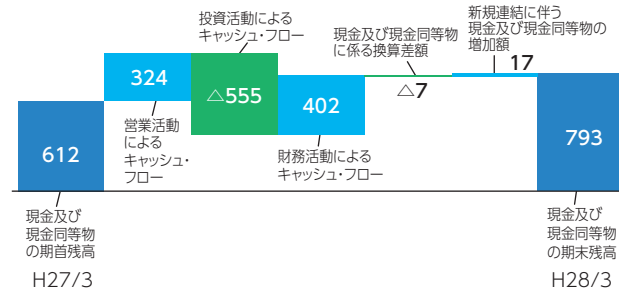
**親会社株主に帰属する当期純利益** (単位：百万円)



**財務の状況** (単位：百万円)



**キャッシュ・フローの状況** (単位：百万円)





## 輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道・トラック・乗用車に搭載される室内用・荷室用照明機器の製造・販売も行っています。



### 主な製品

バス・鉄道用ICカードシステム、運賃箱、整理券発行器、OBC-VISION（液晶表示器）、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器、バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器



LED式行先表示器



OBC-VISION(液晶表示器)



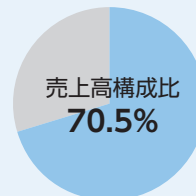
新幹線用室内照明器具



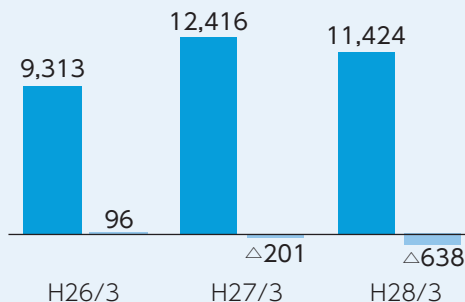
ICカードリーダー付運賃箱

売上高 **11,424** 百万円  
前期比 **8.0%** ↓

営業損益 **▲638** 百万円  
前期は201百万円の  
営業損失



■ 売上高 ■ 営業損益 (単位:百万円)



## 産業機器事業

インバータ技術をベースに産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子(株)において、自動車用電装品、産業機器関連の各種プリント基板実装事業を行っています。



### 主な製品

バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置、LED電源、直管型LEDランプ、ネオン変圧器（巻線式・電子式）、プリント基板実装事業



無停電電源装置



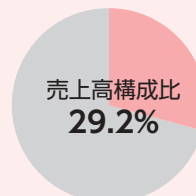
バッテリー式フォークリフト用充電器



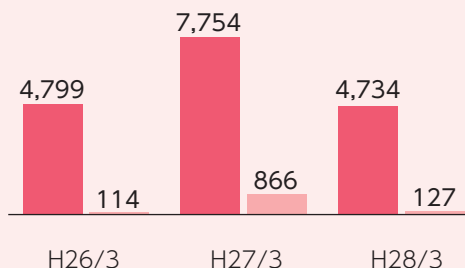
プリント基板

売上高 **4,734** 百万円  
前期比 **39.0%** ↓

営業利益 **127** 百万円  
前期比 **85.3%** ↓



■ 売上高 ■ 営業損益 (単位:百万円)



※平成27年5月19日に過年度決算の数値の訂正を行っており、平成26年3月期の数値はこれを反映した数値を記載しております。

平成27年度

10月

## CEATEC JAPAN2015 に出展

10月、レシップエスエルピー株式会社は、幕張メッセで開催された最新IT・エレクトロニクス総合展「CEATEC JAPAN2015」に出展しました。屋外用無停電電源装置や、可搬型無停電電源装置などの産業機器を数多く展示し、たくさんの来場者の方々に当社ブースにお立ち寄りいただきました。



12月

## USB 充電器を開発

12月、レシップ株式会社は、バス用USB充電器「すまぼうと」を開発しました。座席の肘掛付近に設置し、スマートフォンなどの電子機器を充電することができる製品で、観光バスへの導入が進んでいます。当社グループはバス車内の電装機器を総合的に手がけており、電力変換技術に強みを持っています。本製品には制御ICを搭載しており、バス車内でも様々な携帯端末に応じて最適な充電ができるように設計しました。

2月  
3月

## 東京都交通局様に液晶表示器を納入

2月から3月にかけて、東京都交通局様にOBC-VISION(液晶表示器)641台を納入しました。バス車内の前方に設置し、車内案内放送に合わせ、次に停車する停留所名、行き先、経由地、注意喚起、業務案内等を表示します。外国人観光客の増加に対応し、日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で案内しています。





### 会社概要

商号	レシップホールディングス株式会社 (英文社名: LECIP HOLDINGS CORPORATION)
所在地	〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2 TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
設立	昭和28年3月
資本金	7億3,564万円
従業員	連結515名
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部

### 役員

(平成28年6月22日現在)

代表取締役社長	杉本真
専務取締役	山口芳典
取締役	長野晴夫
取締役	杉戸庸晃
取締役 監査等委員	木村静之 (社外)
取締役 監査等委員	杉山涼子 (社外)
取締役 監査等委員	内木一博 (社外)

### レシップグループ

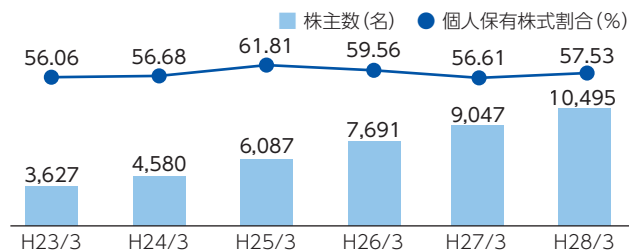
(※は連結対象会社)

レシップ株式会社*
レシップエスエルピー株式会社*
レシップ電子株式会社*
レシップエンジニアリング株式会社*
LECIP INC. (米国)*
LECIP S.A. de C.V.(メキシコ)
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD (シンガポール)*
LECIP THAI Co., Ltd. (タイ)*
LECIP ARCONTIA AB (スウェーデン)*
LECIP ITS d.o.o. (スロベニア)
岐阜DS管理株式会社
レシップ産業株式会社

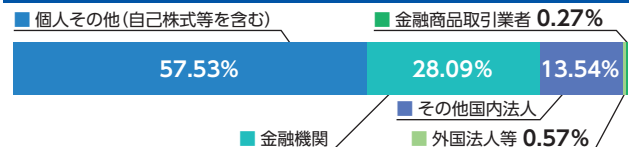
### 株式の状況

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式総数	12,798,200株
株主数	10,495名

### 株主数推移



### 所有者別株式数分布



### 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
レシップ社員持株会	1,032,640	8.39
名古屋中小企業投資育成株式会社	936,480	7.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口)	605,674	4.92
株式会社十六銀行	560,000	4.55
杉本真	383,940	3.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口)	370,246	3.00
レシップ取引先持株会	335,100	2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (従業員持株ESOP信託口)	301,200	2.44
朝日火災海上保険株式会社	300,000	2.43
日本生命保険相互会社	260,000	2.11

注：持株比率は自己株式(485,820株)を控除して計算しております。

## 株主優待制度のお知らせ

対象株主	当社株式を200株（2単元）以上保有されている株主様を対象といたします。（基準日：毎年9月末日）
優待内容	当社本社所在地（岐阜県）の特産品である富有柿（進物用：1箱、2,000円相当）を贈呈いたします。 基準日現在で、当社株式を3年以上保有している長期保有株主様には、2,800円相当の富有柿1箱を贈呈いたします。
贈呈の時期	毎年11月下旬より順次発送を予定しております。



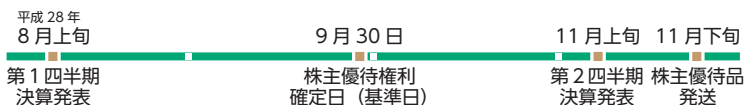
### 株主優待贈答品について

「天下を治める」という意味の「富有」と名付けられ、柿の王様と称される甘柿の代表種です。橙紅色で丸みのある大果で、渋みの全く残らない完全甘柿です。岐阜県が発祥の地といわれています。

### IR担当より

毎年、株主優待品を楽しみにしていただき、ありがとうございます。株主の皆様へ最良の品質のものをお届けするため、収穫状況や入荷量を確認しながら順次発送しておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

## 今後のIRスケジュール（予定）



お問い合わせ先

レシップホールディングス株式会社

管理本部 総務部

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2

TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

## 株主メモ

### 事業年度

4月1日～翌年3月31日

### 期末配当金受領株主確定日

3月31日

### 定時株主総会

毎年6月

### 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
Tel. 0120-232-711（通話料無料）

### 公告の方法

電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

### ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は適切に管理された森林から生まれた  
「FSC®認証紙」及び「植物油インキ」を使用しています。